

(3) 第2四半期連結業績予想値と実績値との差異、および通期連結業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間における売上高は、概ね当初の想定通りに推移し、上期業績予想を達成いたしました。さらにコンサルタントの稼働効率の向上等に伴い収益性が想定以上の推移となったことに加え、継続的な規律ある投資執行により、各段階利益についても上期業績予想を上回る結果となりました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間における進捗に加え、上半期の稼働効率改善およびコストマネジメントの効果が下半期においても継続して見込めることから、各段階利益とも上方修正することといたしました。

2. 配当方針の変更を伴う配当予想の修正（初配）について

(1) 配当予想修正（初配）の内容

	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
前回発表予想	0円00銭	0円00銭	0円00銭
今回修正予想	0円00銭	7円00銭	7円00銭
前期実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(2) 配当方針の変更および配当予想修正の理由

当社は、これまで将来の事業展開と経営体質の強化に向けた内部留保の確保を最優先とし、創業以来無配としてまいりました。しかしながら、足元における利益創出が着実に進展し、財務基盤の安定化および中長期的な成長見通しが立ったことから、株主の皆様への継続的な利益還元が実施可能な経営フェーズへ移行したと判断いたしました。これに伴い、株主還元の基本方針を見直し、以下の通り新たな配当方針を策定・導入することといたしました。

①「**累進配当**」の導入

原則として減配は行わず、配当水準を維持、または利益成長に合わせて増配していく「累進配当」を基本方針とし、株主の皆様への中長期的な利益還元に努めてまいります。

②「**DOE（株主資本配当率）3%以上**」の配当基準設定

今後の配当額の決定にあたっては、純資産（株主資本）をベースに「DOE3%以上」を目安として配当する方針といたします。これにより、新規事業やM&A等の投資活動に伴う一過性の損益変動に左右されない強固で安定的な配当を実現し、中長期にわたる安定株主層の形成による持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

※上記の通期業績予想および配当予想は、発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

以上